

和歌山県立耐久高等学校 学校運営協議会

令和7年度 第1回 5月20日(火) 開催

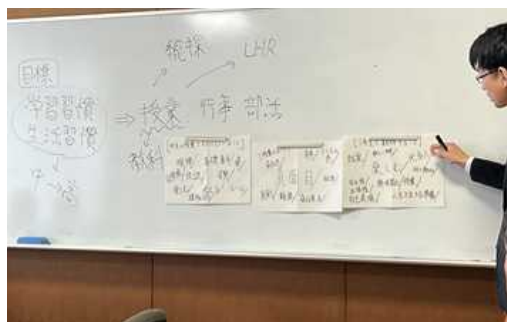
出席者：委員7名、学校関係者5名

議題

- 1 学校運営協議会委員任命 2 会長・副会長の選出
- 3 本校の現状について 4 令和7年度学校経営方針について 5 その他

協議内容

- ① 学校運営協議会委員の紹介
- ② 学校関係者の紹介
- ③ 会長・副会長の選出
(会長：楠 様、副会長：川口 様)
- ④ 本校の現状について(学年主任より説明)
 - 1 学年：宮川 直明 教諭
授業→教科、総合的な探究の時間、LHR
および行事、部活によって学習習慣と生活習慣を身につけることを目指す
 - 2 学年：石田 智美 教諭
計画的に学習できること
自分で課題を発見できること
ソーシャルスキルの体得
 - 3 学年：鈴木 功太 教諭
進路希望調査結果(卒業生の進路状況を踏まえて)
クラブ加入調査結果→加入率のさらなる向上
により学校全体の活性化を図る
- ⑤ 学校経営方針(目指す学校像・育てたい生徒像・重点目標)を校長提案⇒承認
- ⑥ 意見交換した内容と具体的な意見
 - アントレプレナーシップ教育は今後ぜひ続けてもらいたい
 - 調べ学習にはぜひ耐久社(耐久中学校)を使って欲しい
 - 生成AIの活用を教員・生徒ともに推進して欲しい
 - 普通科高校の目指すところ



学校運営協議会委員 (順不同、敬称略)

楠 義隆 (湯浅町 副町長)	大碓 聖人 (広川町立耐久中学校 校長)
川口 厚之 (湯浅町立湯浅中学校 校長)	上田 さとみ (和歌山県教育委員会 委員)
梅本 泰彦 (耐久高等学校 PTA会長)	井上 信太郎 (紀州柑橘 善兵衛農園 七代目園主)
戸川 しをり (耐久高等学校 校長)	

和歌山県立耐久高等学校 学校運営協議会

令和7年度 第2回 9月9日（火）開催
出席者：委員4名、学校関係者3名、外部講師1名

議題

- 1 全日制の1学年「総合的な探究の時間」について
- 2 定時制の現状について
- 3 1学年「総合的な探究の時間」講演会の参観および振り返り

協議内容

- 1 1学年主任より
○調べる・まとめる・発表するという活動を通して、物事を探求する能力を身につける。
○「働く」ことを学ぶため、①アントレプレナーシップ教育講演会②志学ゼミを実施
- 2 定時制の現状を教頭より
○生徒は湯浅町中心に近隣地区より通学している。※和歌山市1名
○3年生(10名)は就職希望2名、進学希望7名、四修制1名の状況。
○2年生(6名)には、個々に応じたきめ細やかな指導をし、保護者との連絡を密に行うように心がけ、不登校が改善された。
○1年生(10名)は、定時制で学ぶことに楽しさを感じ、保護者協力の下、登校できるようになってきている。
- 3 講演会の参観、講師を含めた振り返り
アントレプレナー（起業家）
平安伸銅工業代表取締役 竹内 香予子 氏
による講演会
アントレプレナーシップ教育
(起業家に必要とされる精神や資質・能力の育成)に基づき、
「与えられた問題を正しく解く」だけでなく「自ら課題を発見し、
自分事として捉え解決する」能力や姿勢が必要だということをご自身の経験
から生徒に伝えられました。
また、委員との振り返りでは、①湯浅町のこと②起業のこと③生徒への指導
など設定時間を超えて意見交換がされました。



学校運営協議会委員 (順不同、敬称略)

上田 さとみ (和歌山県教育委員会 委員) 井上 信太郎 (紀州柑橘 善兵衛農園 七代目園主)
梅本 泰彦 (耐久高等学校 PTA会長) 戸川 しをり (耐久高等学校 校長)